

～東日本大震災から7年～

FMラジオ共同キャンペーン千葉 NEXT RADIO (ネクストラジオ) 関連企画

- ① NHK千葉FM×ベイエフエム同時生放送「震災とラジオ」
- ② 「FMラジオ防災プロジェクトちば」の設立について

① NHK千葉FM (80.7MHz) とベイエフエム (78.0MHz) が 「震災とラジオ」をテーマに同時生放送 (メッセージ募集中)

NHK千葉放送局 (局長: 川島和孝) と株式会社ベイエフエム (代表取締役社長: 久保健) では、県内6つのFM局が連携して行うラジオキャンペーンの関連企画として、東日本大震災から7年となる3月11日に「震災とラジオ」をテーマに同時生放送を行います。両局が防災特集番組を同時生放送するのは初めて。当日はNHK千葉放送局 (千葉市中央区千葉港5-1) のスタジオに両局の出演者が集まり、放送局の垣根をこえて災害時のラジオの役割などを語り合います。(※当日放送中のスタジオの一般公開はありません)

(番組内容)

東日本大震災から7年。2011年3月11日—あの日、ラジオは何を伝え、どう役立てられたのか。震災の記憶を風化させないためにリスナー、パーソナリティ、コミュニティFMのそれぞれの目線から災害時のラジオの役割を語り合い、いざという時に必要な情報とは何か、ラジオに何ができるのか、番組を通じて探っていく。※NHK千葉放送局ホームページ、ベイエフエム (吉田照美さん出演番組) 「TERUMI de SUNDAY!」ホームページでリスナーからのメッセージを募集中

■番組: NHK千葉FM×bayfm同時生放送「震災とラジオ」

■放送日時: 2018 (平成30) 年3月11日 (日) 午前9:30~11:16 (bayfm)

午前9:30~11:20 (NHK千葉FM)

■出演: (ベイエフエム) 吉田照美、中村愛
(NHK千葉放送局) 高敏亮アナウンサー、小村美記キャスター ほか



吉田照美 (よしだ・てるみ)、中村愛 (なかむら・あい)

<http://www.bayfm.co.jp/> 「TERUMI de SUNDAY!」 (毎週日曜日 9:30~11:16)



高敏亮 (たかくわ・りょう)、小村美記 (おむら・みき)

<http://www.nhk.or.jp/chiba/> 「ひるどき情報ちば」 (月~金 11:00~12:00) など

② NHK千葉と県内民放FM5局が「FMラジオ防災プロジェクトちば」を設立

(※FM各社代表者 覚書・防災プロジェクト設立合意書調印式の模様／提供写真データあり)

NHK千葉放送局と株式会社ベイエフエムおよび県内コミュニティFM放送4局(市原FM、市川うららFMかずさFM、ラジオ成田)は、現在「FMラジオ共同キャンペーン千葉NEXT RADIO」(2018年2月～3月)を展開中。3年目(3回目)の取り組みとなる今年は「防災」を主なテーマに展開している。

このキャンペーンは震災時に見直されたラジオの力とその魅力を広く発信していこうと県内6つのFM局が連携し2年前(2016年1月)にスタートしたもの。キャンペーンを共同で進める中で協議を続けた結果、このたびキャンペーンに参加する6つのFMラジオ局が「FMラジオ防災プロジェクトちば」設立合意書を取り交わしたほか、NHK千葉放送局は各局と個別に「非常災害時のニュース利用に関する覚書」を締結した。

これにより県内6つの放送局の災害時連携の取り組みが進められるほか、非常災害時に限り民間FM局はNHKの災害情報を一定の条件・ルールの中で利用することが可能となる。

●「FMラジオ防災プロジェクトちば」設立合意書(平成30年1月調印)

非常災害時に県民の生命・暮らし、財産、安全・安心を守るため、相互に協力・連携して放送にあたることできるように取り組む共同プロジェクト。また、日ごろから防災や災害への備え、災害のメカニズムなどの情報を広く伝え、県民の防災意識を高めるために安全・安心に寄与する番組やイベントを合意当事者で協議のうえ共同で制作・実施していく。

●「非常災害時のニュース利用に関する覚書」(平成30年1月覚書締結)

非常災害時に国民の生命・財産に関わる情報をひとりでも多くの視聴者に伝える観点から、NHK千葉放送局が県内の民間FM局と個別に覚書を交わし、非常災害時に限って一定の範囲かつ民放FM局側の責任でNHKの災害情報(ニュースやホームページの災害関連情報)を無償で使うことを認めるもの。

◎この報道資料に関するお問い合わせ、写真データ(出演者写真・覚書調印写真)提供希望について

NHK千葉放送局 企画編成部 服部(はっとり)・五日市(いつかいち)

電話: 043-203-0507 Eメール: hattori.h-he@nhk.or.jp

(千葉市中央区千葉港5-1)

◎ベイエフエムの番組などに関して

株式会社ベイエフエム 広報課 谷山(たにやま)

電話: 043-351-7840 Eメール: taniyama@bayfm.co.jp

(千葉市美浜区中瀬2-6-1 WBG マリブウエスト27F)

(参考) FMラジオ共同キャンペーン千葉 NEXT RADIOとは



【実施概要】

- 名称 FMラジオ共同キャンペーン千葉 2018 NEXT RADIO (ネクストラジオ)
- 実施期間 2018 (平成30) 年 2月~3月
- 主催 NHK千葉放送局、bayfm、
(コミュニティFM4局) 市原FM、市川うららFM、かずさエフエム、ラジオ成田
- 概要 キャンペーン期間にあわせ各放送局がキャンペーン趣旨に沿った様々な取り組みを実施
- キャッチコピー 「千葉がつながる」

【共同で行う主な取り組み】

① 【ラジオ公開録音&イベント】(終了)

キャンペーンオープニングイベント。“防災”をテーマにしたトーク&ライブ

(日時) 2018 (平成30) 年2月10日 (土) 午前11時30分~午後1時 (公開録音)

(会場) ららぽーとTOKYO-BAY (船橋市) 北館1階 中央広場

② 【防災特集番組】NHK千葉FM (80.7MHz) × bayfm (78.0MHz) 同時生放送「震災とラジオ」

(放送日時): 2018 (平成30) 年3月11日 (日) 午前9:30~11:16頃 (予定)

【キャンペーン趣旨・目的】

千葉県内のFMラジオ局が力をあわせて震災時に見直されたラジオの力とその魅力を発信します

いまでも記憶に残る東日本大震災。被災地では広い範囲で停電のためテレビが見られず多くの人がラジオを聞きました。ラジオは災害情報や生活に欠かせない身近な情報を伝えるとともにパーソナリティの声や音楽で人々を励まし続けました。“あたたかいメディア”としてのラジオの魅力が再認識されました。

千葉県内にも大きな被害をもたらした東日本大震災から5年が経過しようとしていた2016年1月~3月に千葉県内のFM局が連携して、改めてラジオの力とその魅力を多くの人に知っていただくとう始めたキャンペーンが「NEXT RADIO」です。

キャンペーンタイトルの「NEXT」は “For the next”

これからの未来へ向けて震災の記憶とラジオの有用性を、そしてラジオの魅力・楽しさを幅広い層に発信し、ラジオ聴取者の拡大を図ります。

今回で3回目(3年目)となるキャンペーンは“防災”を主なテーマに、共同制作番組や公開録音イベントの展開のほか、各局パーソナリティが他局番組に出演するなどの相互交流を実施していきます。

ラジオを通じて、放送局がつながり、放送局とリスナーがつながっていく。

「千葉がつながる」をキャッチコピーに、さまざまな番組やイベントを通じて、リスナーの皆さんと交流しながら、ラジオの可能性や魅力を発信していきます。

(※FM各社代表者 覚書・防災プロジェクト設立合意書調印式の模様／提供写真データ)

撮影日：3月2日 NHK千葉放送局にて



- 前列：左から NHK 千葉放送局 局長 川島和孝、(株) ベイエフエム代表取締役社長 久保健
- 後列：左から 市原FM放送 (株) 代表取締役社長 御園生賢司、
エフエム浦安 (株) ※市川うららFM 専務取締役 片山のり子、
かずさエフエム (株) 代表取締役社長 石村比呂美、
国際ラジオ放送 (株) ※ラジオ成田 営業企画室・プロデューサー 具志幸人